

小田原市久野霊園の墓地の管理運営方針

～合葬式墓地の必要性について～

平成29年11月

小田原市みどり公園課

1. 経緯

- 本市では、都市計画に墓園を定め、昭和 41 年に久野霊園*を開設し、現在都市公園（いわゆる公園墓地）として管理しています。
- これまでに 2,762 区画を整備しましたが、平成 24 年度をもって新規の募集は終了し、現在は返還された墓地の再募集のみを行っています。
- 超高齢社会を迎え、少子化・核家族化の進展など社会情勢も変化していくなかで、久野霊園においても承継者がいなくなり管理されなくなった墓地の増加が見られたり、承継者がいない市民から、合葬式墓地の建設を求める声も聞かれるようになりました。
- そこで、「久野霊園の現状と課題」を整理するとともに、「今後の久野霊園の取り組みの方向性」をまとめた墓地の管理方針を策定することとしました。

2. 市営墓地の必要性

- 墓地の経営主体は、公共性、公益性、安定性の観点から、原則として、地方公共団体でなければならないとされています。
- 県民の約 3 割は、現在住んでいる市町村が設置・運営する墓地の取得を望んでいます。
- 久野霊園を求める方の 3 割は、市町村が経営しているので安心なことを理由としています。

■墓地経営・管理の指針等について（平成12年12月6日、厚生省生活衛生局長通知）

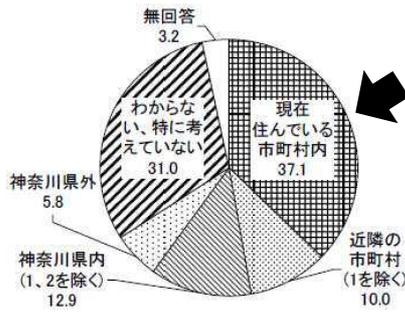
墓地経営主体は、市町村等の地方公共団体が原則であり、これによりがたい事情があっても宗教法人又は公益法人等に限られること。（中略）地方公共団体が行うことの望ましい理由は、墓地については、その公共性、公益性にかんがみ、住民に対する基礎的なサービスとして需要に応じて行政が計画的に供給することが望ましいと考えられること、将来にわたって安定的な（破たんの可能性のない）運営を行うことができ、住民が安心して利用できることである。（以下略）

* 久野霊園・・・付属資料 1（P10）参照

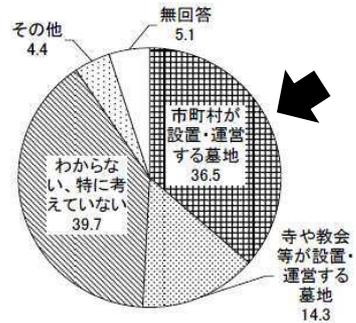
■墓地に対する県民ニーズ調査

- 将来お墓を取得するとしたら、どこに取得したいか尋ねたところ、「現在住んでいる市町村内」(37.1%)が3割台でした。
- 将来お墓を取得するとしたら、どのような墓地に取得したいか、墓地を設置・運営する主体を選んでもらったところ、「市町村が設置・運営する墓地」(36.5%)が3割台でした。

図表 2-3 お墓を取得したい地域 (n=652) (%)



図表 2-5 墓地の設置・運営主体 (n=652) (%)

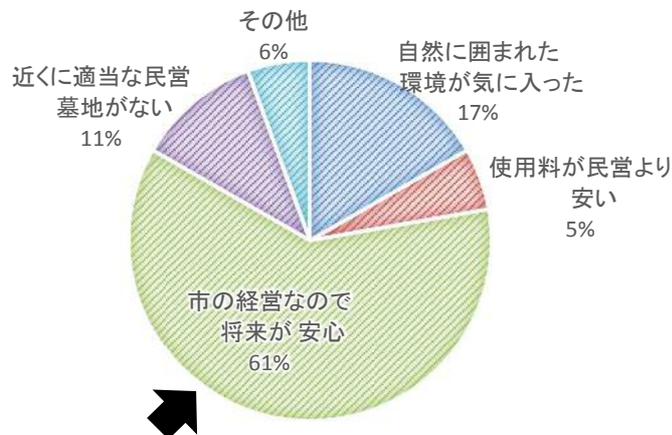


出典：平成 23 年度県民ニーズ調査【第 2 回課題調査】 神奈川県

■市営霊園に対する意識調査

- 久野霊園の空き区画の抽選に参加した方に対するアンケートでは、久野霊園を使用したい理由として「市が経営しているので将来が安心」との回答が6割いました。

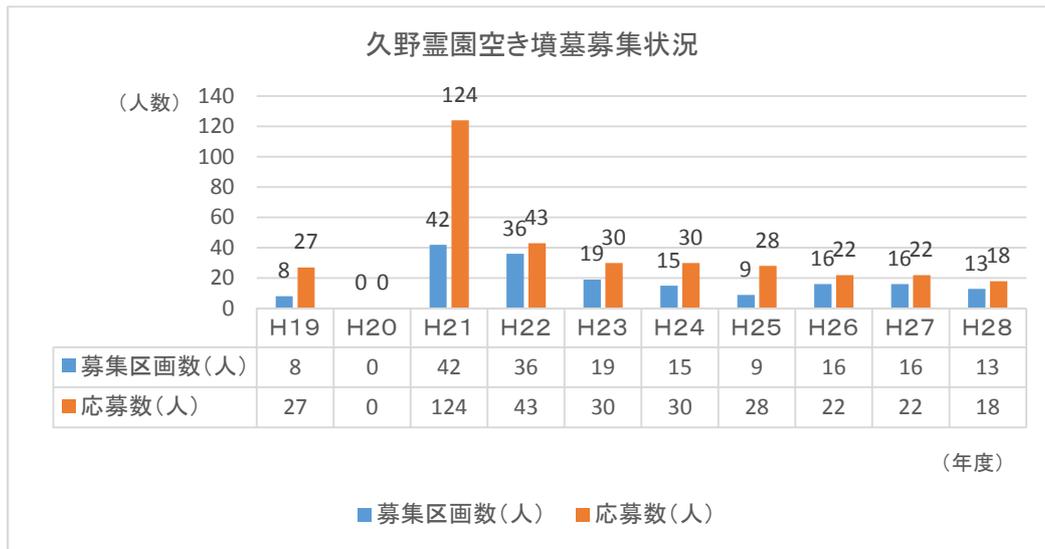
久野霊園を使用したい理由 (N=18) (%)



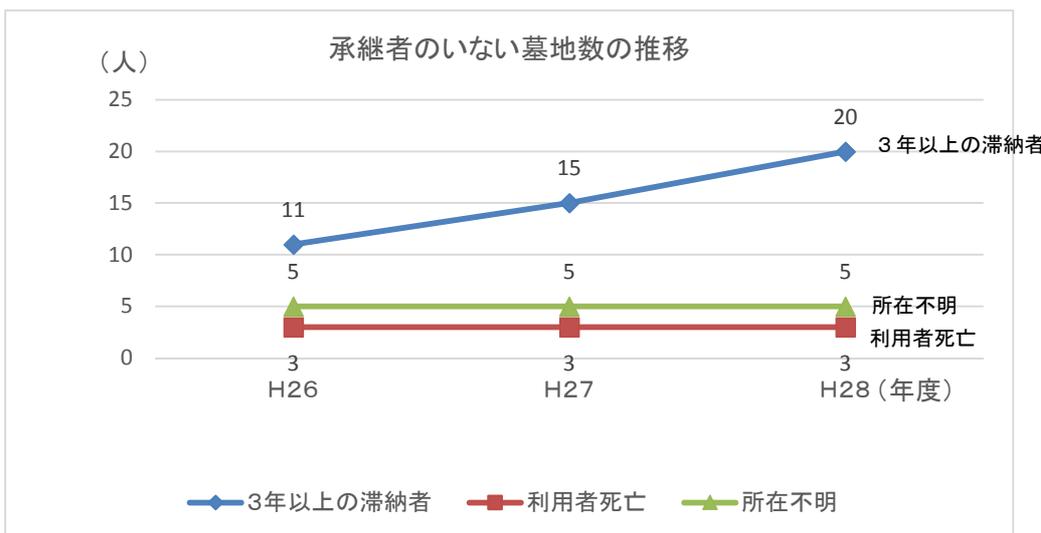
3 市営久野霊園の概要

- 本市唯一の市営墓地「久野霊園」には、2,762区画の墓地が整備されています。
- 墓じまいによる返還区画の再募集の状況を見ると、毎年、公募数を申込数が上回っています。
- 承継者のいない墓地や管理料が支払われない墓地数は、年々増加傾向にあります。

■市営久野霊園の公募結果



■市営久野霊園における承継者のいない墓地数の推移



(備考)

※管理料を3年間納付しないときは、使用許可を取り消し、原状に復し返還する義務が発生する。

※使用者が住所不明となり10年を経過したときは、墳墓を無縁として処理することができる。

4 合葬式墓地に関する調査

(1) 県内自治体の状況

○神奈川県内で公営墓地を設置する9自治体のうち、7自治体は合葬式墓地*を整備しています。

■県内の公営墓地と合葬墓の概要			
	公営墓地がある自治体	普通墓所の区画数	合葬式墓地の収容数
1	横浜市	43,500 区画	16,350 体
2	川崎市	37,477 区画	26,500 体
3	相模原市	8,300 区画	5,000 体
4	横須賀市	25,577 区画	3,450 体
5	綾瀬市	689 区画	336 体
6	平塚市	4,000 区画	なし
7	藤沢市	34,537 区画	骨壺 3,000 個 (5体/個)
8	清川村	1,039 区画	120 体
9	小田原市	2,762 区画	なし

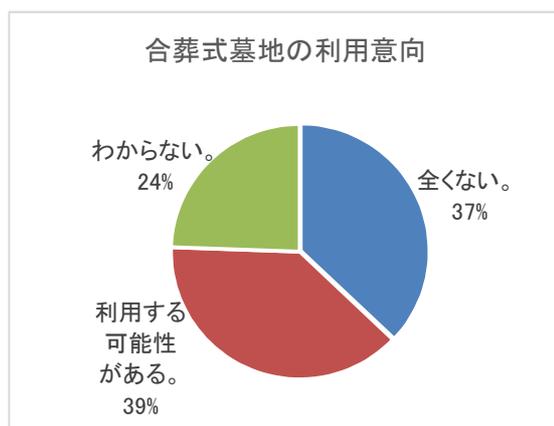
* 合葬式墓地・・・付属資料2 (P11) 参照

(2) 久野霊園利用者のアンケート調査結果

- 合葬式墓地の利用意向や利用時期を把握するため、久野霊園使用者を対象としたアンケート調査を実施しました。調査の概要は次のとおりです。

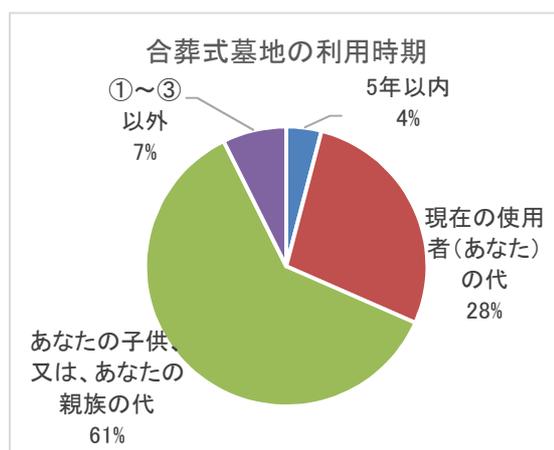
■合葬式墓地の利用意向 (N=1517、単回答)

- 久野霊園内に合葬式墓地が整備された場合、39%の方が利用する可能性があると考えています。



■合葬式墓地の利用時期 (N=663、単回答)

- ・ 合葬式墓地を利用する可能性があるを選んだ方のうち、「5年以内」を選んだ方は約4%、「現在の使用者(あなた)の代」が約28%、「あなたの子供、又は、あなたの親族の代」が約61%であった。



5 墓地需要数の推計

○今後20年間（平成29年度から平成48年度）の墓地需要数を推計します。

（1）区画墓地の需要数の推計

- ・ 過去10年間では、募集数174区画に対して、344区画の応募者がいることから、今後20年間では、352区画の需要があると見込まれます。

$$(344 \text{ 区画} - 174 \text{ 区画}) \times 2 \text{ (20年間換算)} = 340 \text{ 区画}$$

（2）合葬式墓地の需要数の推計

- ・ 久野霊園使用者のうち、合葬式墓地を利用する可能性がある使用者の数は、1,077人です。

$$\begin{aligned} & \text{久野霊園使用者 (人)} \times \text{合葬式墓地を利用する可能性がある者の割合 (\%)} \\ & = 2,762 \text{ 人} \times 39\% \\ & = 1,077 \text{ 人} \cdots \cdots \text{①} \end{aligned}$$

- ・ ①のうち、今後20年以内に合葬式墓地を利用する可能性がある使用者数は、345人です。（この場合、345区画が空き墓地となります。）

$$\begin{aligned} & \text{①} \times (\text{「5年以内に利用」の割合 (\%)} + \text{「現在の使用者の代に利用」の割合 (\%)}) \\ & = 1,077 \text{ 人} \times (4\% + 28\%) \\ & = 345 \text{ 人} \cdots \cdots \text{②} \end{aligned}$$

※「今後20年以内」とは、現在の使用者の平均年齢が66歳（サンプル抽出）、女性の平均寿命が86歳として設定しています。

- ・ 今後20年以内に夫婦等2組まで骨壺で保管すると仮定した場合の使用者数は、590体です。

$$\begin{aligned} & \text{②} \times (2 \text{ 体} \times 71\% + 1 \text{ 体} \times 29\%) \\ & = 345 \text{ 人} \times (1.42 + 0.29) \\ & = 590 \text{ 体} \end{aligned}$$

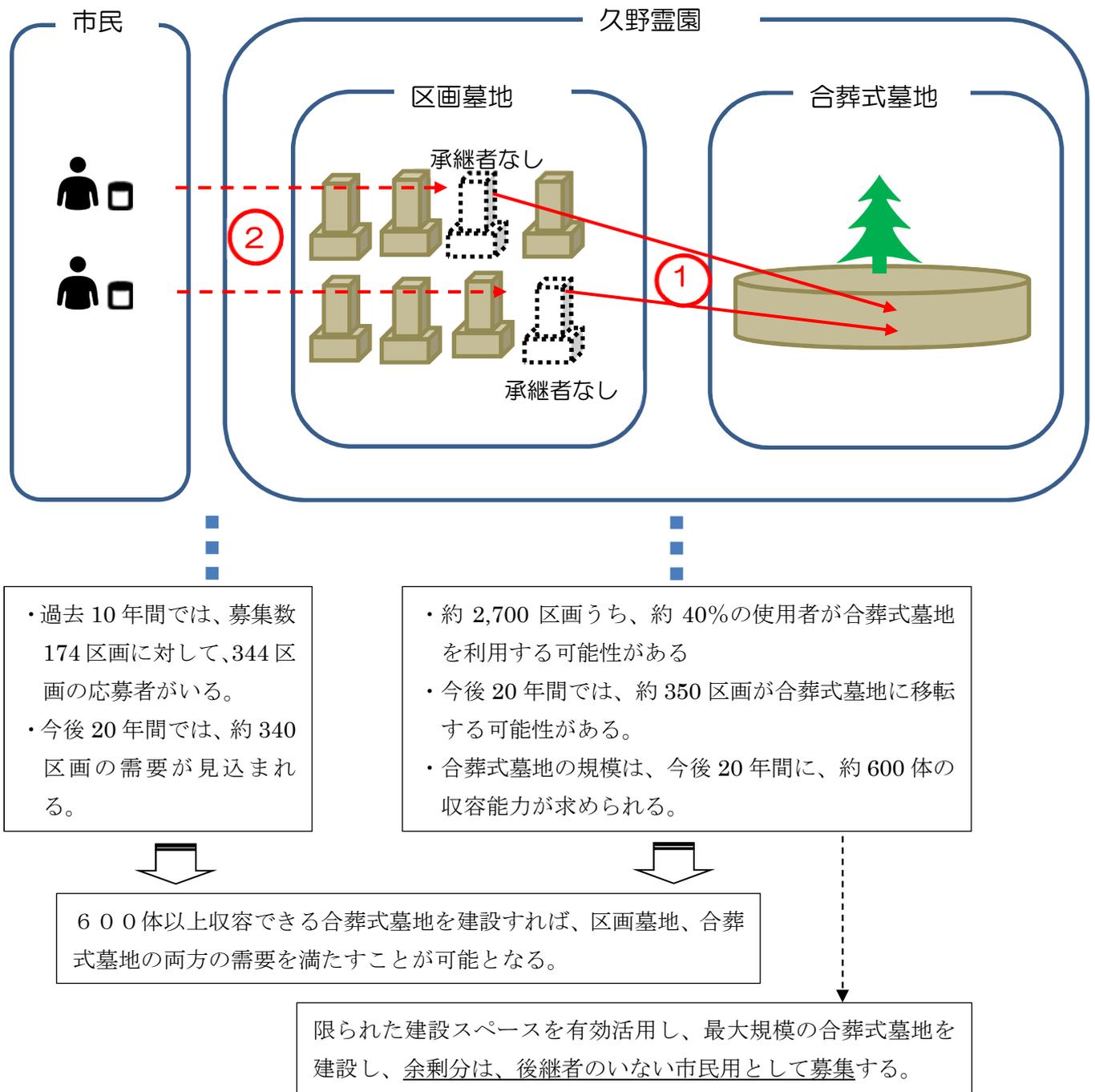
※横須賀市のデータ（単身利用と夫婦利用の割合の比は、単身1：夫婦2.5）を参考に算定しています。

6 市営久野霊園の墓地の管理運営方針

(1) 管理方針

- 区画墓地の需要及び合葬式墓地の需要を踏まえ、久野霊園を今後も適正に管理するため、久野霊園内に合葬式墓地を整備し、区画墓地から合葬式墓地への改葬と、空き区画の市民への提供を同時に進める「循環利用」を進めていきます。

■墓地の循環利用のイメージ (①➡②)



(2) 合葬式墓地の整備に向けた具体の取り組み

①整備費用

- ・ 厳しい財政状況のため、現在の久野霊園の区域内に合葬式墓地を整備し、その費用を抑制します。
- ・ 受益者負担の原則に則り、合葬式墓地の整備に要する費用は、使用料で賄ない（回収）ます。

②規模

- ・ 合葬式墓地の規模は、久野霊園を使用している方のうち、合葬式墓地を利用したい方の遺骨が収容できる規模を最低ラインとします。
- ・ また、土地の制約の範囲内で、最大の収容能力を有する規模のものを設計し、余剰能力が見込める場合には、久野霊園使用者以外の市民のうち、承継者のいない市民の遺骨の収容を検討します。

③形態

- ・ 合葬式墓地の形態は、アンケート結果*等を踏まえ、遺骨を骨壺に入れた状態で納骨室に一定期間安置し、一定期間経過後は、遺骨を合同埋蔵する方法を基本に、今後検討を進めます。

④位置

- ・ 合葬式墓地を整備する位置は、バリアフリーに配慮し、周囲に平坦地があり、かつ、トイレや休憩施設のある管理棟に至近な場所を選定します。

*アンケート結果・・・付属資料3（P12～14）参照

7 スケジュール

年度	内容
平成 29 年度	<p>6 月 久野霊園使用者に対してアンケート調査を行い、合葬式墓地の需要を把握する。</p> <p>9 月 「小田原市久野霊園の墓地の管理運営方針」(案)の作成(合葬式墓地の必要性や規模の算定など)</p> <p>11 月 みどりの審議会にて審議</p> <p>2 月 建設経済常任委員会に報告</p>
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の整備場所の測量、地質調査、基本設計 合葬式墓地の形態の検討(規模、期限付き、合祀方法など)
平成 31 年度	<ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の実施設計
平成 32 年度	<ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の整備
平成 33 年度～	<ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の使用の募集を受け付け 無縁墳墓の改葬 後継者のいない墳墓の合葬式墓地への改葬受付

■久野霊園の概要

1.施設名

小田原市久野霊園
(都市公園)

2.所在地

小田原市久野 4859-7

3.面積

13.4 ヘクタール

4.供用

昭和 41 年

5.主な施設

普通墓所	面積…13,042 m ² 区画数…2,762 区画 (4 m ² …1,753 区画、6 m ² …1,009 区画)
管理事務所	1 階…事務所、休憩所 (16 名)、トイレ 2 階…休憩室 A (和室 8 畳) 休憩室 B (洋室 22 畳)、トイレ
駐車場	94 台 (園路駐車 31 台含む)
トイレ棟	2 カ所
展望広場	1 カ所

6.管理運営主体

小田原市みどり公園課

7.使用料・管理料

使用料	4 m ² 区画…525,000 円 6 m ² 区画…787,000 円
年間管理料	4 m ² 区画…5,000 円 6 m ² 区画…7,500 円

8.公共交通

小田原駅より年間 14 日間 (彼岸 3・9 月、盆 7・8 月、年末 12 月) 運行
各日 4 往復運行



■合葬式墓地（合葬墓）

1. 合葬墓とは

家族単位ではなく、大勢の遺骨を一か所で収蔵する施設。骨壺単位で収蔵するものと、骨壺から開けて、故人を特定できない形で収蔵するものがある。「永代供養墓」とも言う。

2. 最近の合葬墓

横須賀市営公園墓地の例（HP より抜粋）

期限後合祀型合葬墓とは、従来の一般墓地（芝生墓地・普通墓地）とは異なり、1つの大きなお墓に多くの遺骨を一緒に埋蔵する新しい形式の墓地です。「期限」とは、遺骨を骨壺に入れた状態で地下の納骨室に個別埋蔵できる期間（使用許可日から20年）のことで、期限後は、遺骨を骨壺から出して1体ずつ納骨袋に移し、合祀室で永代にわたって共同埋蔵されますので、墓地を承継する人がいない方でもご利用いただくことができます。

合葬墓全景



(2) 納骨室（地下）



遺骨は使用許可日から20年間は地下の埋蔵室の棚で骨壺に入れた状態で個別埋蔵できます。(20年間の始期は埋蔵された日からではありません。)

遺骨の埋蔵の際は、管理事務所の職員が骨壺をお預かりして行います。使用者の方が納骨および参拝することはできません。

納骨できる骨壺の大きさは、縦 30 cm・横 30 cm・高さ 30 cm以内で、焼骨以外は埋蔵できません。

(3) 合祀室（地下）



使用許可開始日から20年経過し、延長の申請がなかったときは、遺骨を骨壺から納骨袋へ移し、合祀室で永代に渡り共同埋蔵します。(その際のご連絡はいたしません。)

合祀室に埋蔵後は、遺骨を返還することはできません。また、使用者の方が参拝することはできません。

■久野霊園合葬式墓地に関するアンケート調査の結果

(1) 調査の趣旨と方法等

久野霊園は現在、後継者のいない無縁墓地が増えている一方で、区画墓地が空くのを待っている方もいるため、市では、無縁墓地になる前に区画墓地から移転していただける施設（合葬式墓地）を建設し、空いた区画を利用したい方に使っていただく仕組みを検討することとしました。

そこで、久野霊園を利用している方の意向を把握する必要があるため、アンケート調査を実施したものです。

(1) 調査概要

- 調査対象：久野霊園使用者全員 2, 752人
- 調査時期：平成29年4月～6月

(2) 回収結果

- 回収数：1, 522通
- 回収率：55.3%

(3) 調査結果の留意点

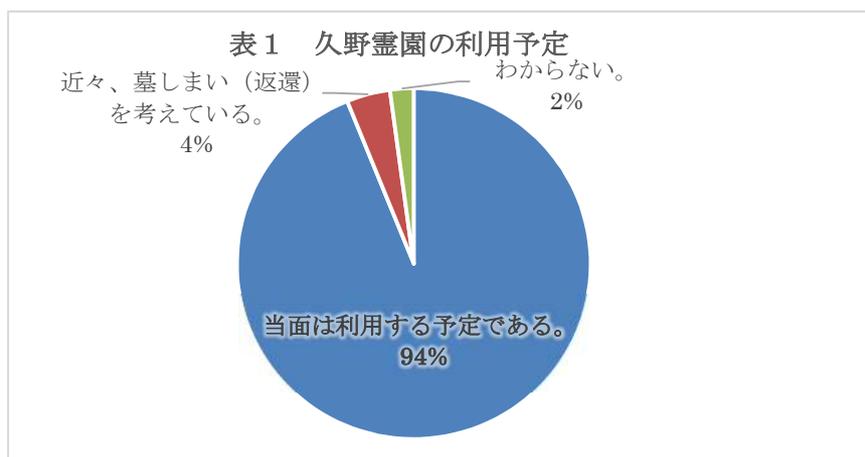
- 各設問の回答比率(%)は小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 各設問において「その他」を選択した場合は意見を自由に記入することとなっていますが、各意見末尾の()内の数字は類似意見の記入者を表しています。

(2) 調査結果

①久野霊園の利用意向

【問1】 今後も久野霊園を利用する予定ですか。

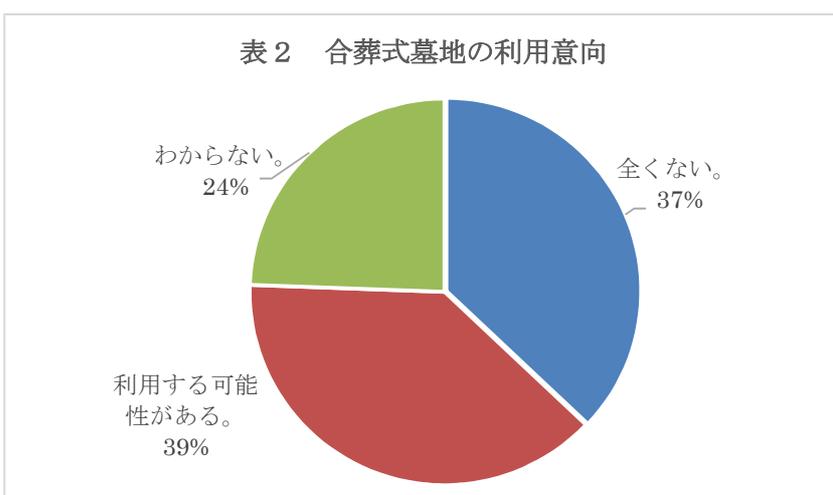
「当面は利用する予定」を選んだ方は約94%、「近々、墓しまい（返還）を考えている」約4%であった。



②合葬式墓地の利用意向

【問2】 将来久野霊園に合葬式墓地が整備された場合、利用する可能性がありますか。

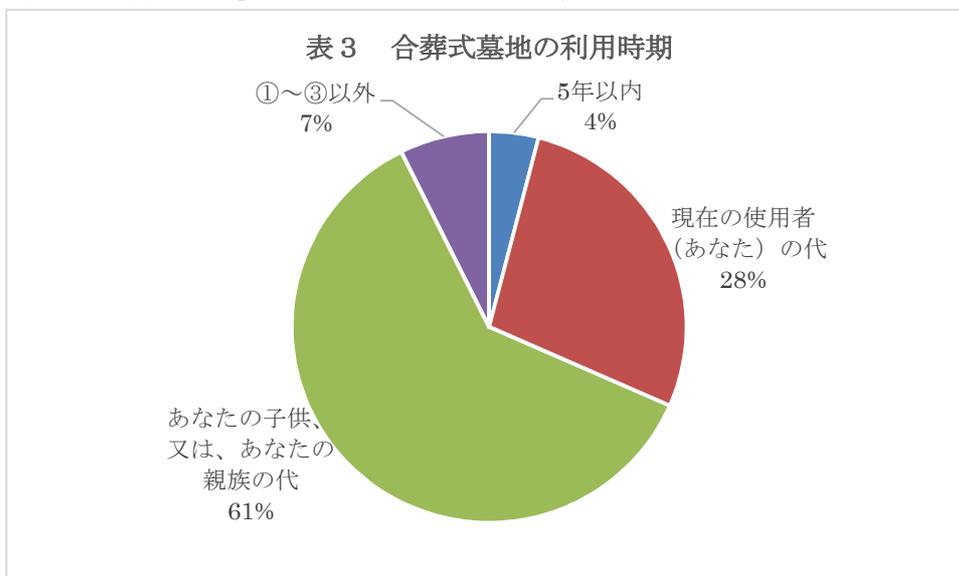
「利用する可能性がある」を選んだ方は約39%と最も多く、次いで「全くない」が約37%、「わからない」が24%であった。



③合葬式墓地の利用時期

【問3】合葬式墓地を利用する可能性がある時期は、いつ頃ですか。

問2で、合葬式墓地を利用する可能性があるを選んだ方のうち、「5年以内」を選んだ方は約4%、「現在の使用者（あなた）の代」が約28%、「あなたの子供、又は、あなたの親族の代」が約61%であった。



④合葬式墓地のタイプ

【問4】合葬式墓地の形態は、どのようなタイプが良いですか？

問2で、合葬式墓地を利用する可能性があるを選んだ方のうち、「納骨室の棚に骨壺を安置し、一定期間経過後合同埋葬するタイプ」を選んだ方は約70%、「納骨室には安置しないで、遺骨を布袋に入れて、合同埋葬するタイプ」が約30%であった。

